

都 退 教 協 だ よ り

No.285号

2018年8月15日発行

東京都退職教職員協議会 会長 柴田 迪春

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

都退教協 43 回定期総会開かれる！

憲法改悪阻止, 参議院選勝利, 安心安全な社会を

7月4日（水）午後2時より、都退教協定期総会が東京教組会議室において開催されました。

佐久間忠夫議長の進行のもと、柴田会長の挨拶、ご来賓挨拶のあと、経過報告、決算、活動方針、予算が決定されました。



運動方針論議では、教職員の病院である三楽病院を使いやすくする意

見が出されるとともに、戦争をする国づくりのために改憲を急ぐ安倍政権を倒し、安全・安心の社会保障制度の確立をめざすために、来年の参議院選挙では組織内候補の水岡俊一さんの当選を期して取り組みことが確認されました。

総会は、2018年度の役員を選出し、城田常任委員による総会宣言を満場一致で採択して成功裏に終了しました。総会后、恒例の懇親会にも多くの皆さんが参加してくれました。

総会宣言

めまぐるしく変化する世界情勢、1年前に現在の変化を想像することができたろうか？

2018年6月12日シンガポールで米朝首脳会談が行われた。昨年までは、いつ戦争が起こってもおかしくない情勢であったし、敵対しあっていた者どうしが握手をかわしたのである。本年2月の平昌オリンピックから始まった南北融和、これに続いた南北首脳会談と板門店宣言という朝鮮半島を巡る平和へのあゆみは確実に動きだした。

一方、「対話のための対話はありえない」「拉致問題が解決するまでは最大限の圧力

を！」と豪語し、トランプの腰巾着を地で行っていた日本の安倍総理は、北東アジアの平和への歩みから完全に切り残されている。朝鮮半島の緊張や南北分断は、かつての日本がおこなった侵略戦争と植民地支配が密接に関わっているし、日本には大きな責任があるはずである。

今年の5月3日の憲法記念日に安倍首相は「改憲論争に終止符を打たなくてはならない。」と自衛隊を憲法に明記する改憲への意欲を示しました。さらに、緊急条項を加えようとしている。憲法九条の平和主義や民主主義の実質解体をもくろんでいる。また、森友

疑惑・加計疑惑などになんら反省もなく、嘘で塗り固めた政府答弁で乗り切ろうとしている。このまま、安倍政権の横暴を許してはならない。国民の多くが安倍内閣への不支持を訴えている。労働者・市民の団結した力で安倍内閣を更に更に追いつめ、打倒していこう。

学校現場では我々が毎年のように訴えてきた長時間労働に、ようやく目を向けられる様になってきた。しかし、それを解決するために必要な教職員数の定数増や業務の見直しもせず、新学習指導要領の試行を始まっている。「特別な教科 道徳」の導入や小学校の英語教科化など多くの問題点を残したままである。

さらに言えば学校現場のみならず、国内のあらゆる職場でのセクハラ・パワハラによる

被害が後を絶たない。1人の労働者が人として尊重される職場や社会を作ること、その実現のために現場を離れたとは言え、生ある限り奮闘していこう。

本日私たちは会員相互の真摯な討論を重ね、2018年度の活動方針を決定しました。当面する政治課題と組織拡大を実現し、高齢者が安心して暮らせる社会保障制度の改善要求や改憲阻止・脱原発の闘いに全力で取り組みます。また、来年の統一地方選挙や参議院選挙に向けて日政連議員の当選を勝ち取るよう全力を尽くします。

2018年7月4日

東京都退職教職員協議会第44回定期総会

2018年度 都退教協役員

会 長	柴田 迪春	常任委員	城田 純生
副 会 長	安部 東明	〃	藤崎 喜仁
〃	川角 恒	〃	小倉 武
事務局長	谷口 滋	〃	繭山 紀子
会 計	安藤 隆	〃	齋藤 典子
〃	遠藤 宏一	顧 問	秋元 松彦
常任委員	祝迫 規之	会計監査	長谷川和男
〃	名谷 和子	〃	土井 彰

9. 1 1 地方公務員退職者協議会高齢者集会

日時：9月11日(火) 13:30～16:30

場所：日本教育会館3F 一ツ橋ホール（千代田区一ツ橋2-6-2・神保町A2出口から5分）

主催：日教組、自治労、全水道、地公退 内容：全体集会、基調提案、講演

9. 1 2 全国高齢者集会

日時：9月12日(水)13:00～16:30

場所：文京シビックホール（後楽園駅・春日駅直結）（文京区春日1-16-21 2F）

主催：日本退職者連合 内容：全体集会、デモ行進（水道橋駅周辺まで）



朝鮮学校支援と「全国行脚」

長谷川和男（「高校無償化」からの朝鮮学校排除に反対する連絡会代表）

朝鮮学校と私の出会い

私が朝鮮学校と出会ったのは、東京教組が取り組んできた「日朝教育交流のつどい」が始まりです。特に私が書記次長として東京教組の専従になった時、「つどい」の担当となり、朝鮮学校の校長先生方と一緒に準備を重ねる中で、親友とも呼べる友がたくさんできたことが大きく影響したと思います。

2010年、当時の民主党政権の目玉政策の一つが「高校無償化」制度の制定でした。その時「朝鮮学校の先生たちが苦しんでいるのに、何かできないか？」と「高校無償化」からの朝鮮学校排除に反対する連絡会をたちあげて、活動を始めたのです。あれから8年以上を経過し、今、全国五か所で裁判闘争を闘っています。

全国行脚への私の思い

2017年6月20日、九州朝鮮中高級学校訪問を皮切りに始まった「全国行脚」は、12月22日の朝鮮大学校訪問で終了しました。この半年間で、日本全国にある67校の朝鮮学校をすべて回り切ることができたのは、全国各地のたくさんの方々のおかげです。お忙しい中で私の訪問を快く受け入れてくださった朝鮮学校の先生方、歓迎してくださった子どもたちに、心から感謝したいと

思います。またオモニ会やアボジ会の方々、学校関係者、日本の支援者の皆さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。今回の全国行脚は、

「高校無償化裁判勝利・朝鮮学校補助金削減反対！朝鮮学校の子どもたちに学ぶ権利を！」をスローガンに掲げてはじめたものです。私が全国の朝鮮学校を回りたいと考えた最大の理由は、朝鮮学校で真剣に学んでいる子どもたちを励ましたい、悪条件の中で必死に教育に打ち込んでいる先生方を励ましたい、朝鮮学校を取り巻く厳しい状況の中で子どもたちに民族教育を学ばせたいと頑張っているオモニやアボジを励ましたいと考えたからです。

九州から北海道まで67校の

最後の訪問は朝鮮大学校

「全国行脚」で歩いた距離は、ほぼ1000キロメートル、移動距離は優に3000キロメートルを超えていると思います。今年の夏も本当に暑かった。20キロを超えるザックを背負い、「朝鮮学校にも高校無償化を！」という旗を掲げての行脚では何度も熱中症になりかけ、豪雨や落雷に見舞われ、台風にも遭遇しました。使い慣れないタブレットでフェイスブックに投稿しながらの行脚でした。「一人で回って一体何の意味があるのか？」という疑問がなかったわけではありません。しかし

その答えは、12月22日終業式当日の朝鮮大学校訪問で明らかになりました。今回の行脚で必死に学んだフェースブックの呼びかけに応じて、東京小平の鷹の台駅には20人余りの人が集まって一緒に行進してくださったのです。半年間掲げ続けてきた旗を先頭に朝鮮大学校の門をくぐった時、大学生と先生方が拍手で迎えてくれました。学生代表の歓迎の言葉と、花束もいただきました。全学生と先生方の前で、平和フォーラムの藤本泰成共同代表、日教組の国際部長、東京真相調査団代表の西澤清さん、都高教委員長藤野正和さん、千葉高教組委員長の堀川久司さんが連帯の挨拶をしてくださいました。最後に私が挨拶し、「雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も毎週金曜日に文部科学省前に立って訴える姿に触発されて、全国行脚に踏み切ったのです。かけがえのない経験をさせてもらいました。ここで得た貴重な経験を活字にして、朝鮮学校の民族教育の素晴らしさを日本社会に広めていく決意です。」と述べさせていただきました。



私の行動がきっかけとなって、在日コリアンの同士の連帯が深まったという声をよく聞きました。同時に、日本人支援者の新たな結びつきが確実に広がってきていると感じました。

日本の教育行政は、

朝鮮学校から学ぶべきである！

全国行脚で私が得たものは、大変大きなものでした。その一つが「朝鮮学校の民族教育は素晴らしい。」ということです。朝鮮学校は在

日コリアンの子弟が、民族の言葉、民族の歴史、民族の文化を学ぶ民族学校として、戦争直後の1945年に国語教習所から始まりました。その後統合されて朝鮮学校と名称を変更し、厳しい日本政府の弾圧にも屈せず民族教育を発展充実させてきたのです。朝鮮学校の子どもたちは、日本社会の中で堂々と胸を張って生きていける朝鮮人としての生きる力を育んできました。私は以前から朝鮮学校を訪問してある程度分かっていたつもりでしたが、全国を回ってみて「朝鮮学校は素晴らしい、」とあらためて確信しました。朝鮮学校は大きい学校もあれば、全校生徒わずか7人という学校もあります。しかしどの学校も、子どもたちがお互いに助け合い、勉強の得意な子は苦手な子を教え、楽器の得意な子が苦手な子に励まして教える姿に感動しました。ある幼稚園では交代制で当番を決め、年少の3歳児が年中の子や年長の子たちの前で号令をかけていました。先生に何うと「小さいころから自主的態度を養うことが大切です。」とおっしゃっていました。教育の原点であるお互いに助け合い、自主的、自律的に学ぶことがいかに大切かを実感しました。教員が自主性・自律性を持っていないところで、どうして子どもの自主性・自律性を育てられるのでしょうか。日本の教育行政は、校長のリーダーシップを掲げて教員の自主性・自律性を奪い、職員会議を単なる伝達機関に変えてしまいました。その結果、日本の学校は、「いじめ」が横行し、学級崩壊が多発しているのです。文部科学省や地方教育委員会は積極的に朝鮮学校を訪問し、民族教育に学ぶべきだと思います。

楽しみながら闘い続ける！

「悪事の限りを尽くす安倍政権を支えているのは若い世代である。」と言われていきます。その若い世代を教育してきたのは、私たちです。私も自分の教育実践を振り返って、子どもたちの自主性、自律性を育ててきたかと問うとき、残念ながら自信がありません。その罪滅ぼしの気持ちもあって、全力で闘お

うと思っています。しかし闘いは、ずっと続くでしょう。楽しみながら、闘い続けようと思

います。

《編集部註》

都退教協の会計監査を務めている長谷川和男さんが昨年6月から12月、「朝鮮学校にも高校無償化を！」の旗を掲げて全国の朝鮮学校を訪問されました。その手記を投稿して欲しいとお願いしたところ、快く書いてくださいました。詳しい全国行脚の記録は、年末にも出版される予定だそうです。ご期待ください。



教育、くらし、平和

希望ある未来を子どもたちに!

しゅんいち

みずおか俊一

ご支援に感謝



都退教協の総会で、推薦を決定した日政連参議院議員予定候補「水岡俊一」さんの政策、プロフィールを紹介します。

1 教育「誰でも学べる社会」

- 家庭の状況によらず、安心して学び続けられる制度の充実にとりくみます。
- 子どもたちにゆたかな学びを保障するため、教職員定数の改善と少人数学級の推進によりくみます。
- 充実した教育環境を整えるため、教育予算の拡充につとめます。

2 くらし「安心して働ける社会」

- 教職員が健康で、充実感をもって働くことのできる環境整備をすすめます。
- 臨時・非常勤職員などの処遇改善と雇用の安定にむけた整備につとめます。
- 男女平等社会の実現、障害者の雇用促進など、一人ひとりが尊重される共生社会を実現します。

3 平和「平和に暮らせる社会」

- 平和・人権、民主主義などの憲法理念が生かされる社会を実現します。
- 原発ゼロの早期実現とクリーンで安全な自然エネルギーの推進にとりくみます。
- 国連の持続可能な開発目標を推進し、すべての人が平和と豊かさを享受できる共生社会を実現します。

プロフィール

1956年6月、兵庫県豊岡市に生まれる。60歳

4年生の9月まで竹野小学校に通い、豊岡市で豊岡小学校、豊岡南中学校、豊岡高校生活を送り、奈良教育大学卒業後1980年4月、三木市で教職につく

三木市志染中、星陽中学校に勤務。兵庫県教組三美支部で組合活動に参加。その後、海外の日本人学校を希望しインド・ニューデリー日本人学校に

1989年度 三木市星陽中学校に戻る

1990年度 兵教組東播地区専従役員

1992年度 兵教組本部執行委員長

1995年度 兵庫県学校厚生会（次長）

2000年度 兵庫教育文化研究所事務局長

1995年度 2002年度 兵教組本部書記次

2004年度 兵庫教育文化研究所副所長 民主党兵庫県連政治改革推進委員長

第20回参議院議員選挙（兵庫県選挙区）に初挑戦、910,114票の得票でトップ当選

2010年度 第22回参議院議員選挙（兵庫県選挙区）にて515,541票の得票で当選（2期目）

2011年9月～2012年10月 野田内閣にて、内閣総理大臣補佐官を務める

2013年10月～12月、2014年1月～9月 参議院内閣委員長を務める

現在 神戸市西区在住

編集後記

- ◇ 酷暑と台風の夏、いかがお過ごしですか？高齢者の熱中症が話題になっていますが、くれぐれもご自愛ください。
- ◇ 船越紀夫さんが、4月3日ご逝去されました。都退教協会員であり、足立区議会議員にも挑戦され惜敗されました。また、東京教組組織内議員の芦沢一明渋谷区議が3月、斉藤裕子荒川区議が7月に急逝されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。
- ◇ 今号の付録で都退教協クロスワードパズルを作ってみました。多くの会員からの応募をお待ちしています。
- ◇ 神本美恵子参議院議員が今期で退任され水岡俊一さんが日政連として立候補されます。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。日政連参議院議員の神本美恵子さん、那谷屋正義さんは、水岡俊一さんとともに立憲民主党の所属になりました。
- ◇ 「セクシュアルハラスメント」学習会（都高教退職者会主催）にご参加ください。都退教協も後援しています。

日時：9月22日(土)14:30～16:30

場所：連合会館 401 会議室（新お茶の地下水車）

講師：角田由紀子さん（弁護士）

（谷口記）